

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科

商業 科目

課題研究 (経済探求と実習)

教科: 商業 科目: 課題研究 (経済探求と実習)

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 A~F 組

使用教科書: ( )

教科 商業 の目標:

【知識・技術】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 (経済探求と実習) の目標:

【知識・技術】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
業界・企業について実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けるようにする。	我が国の企業・業界に関して、将来のビジネスシーンでの活用方法を想定できる力を養い、合理的な判断ができるようになる。	ディベートを通して様々なテーマについて自ら学び、コミュニケーション能力を高める等、主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション 経済探求事前ガイダンス 修学旅行先業界研究	・課題研究に取り組む姿勢を理解し、実践するところがまを身に付ける。 ・我が国の企業のほか、修学旅行の行き先でのマーケティング活動を理解し、実際訪問する修学旅行場所で体験することにより、地方の業界や企業が東京とは異なるマーケティング活動の特徴を理解する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 課題研究のところがまえと意義について考え、理解することができたか。 企業の特徴や業界活動の概要を理解し、具体的な会社名を理解することができたか。 企業の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○		2
	業界研究	会社四季報や日本経済新聞社が発行している書籍「業界研究」を活用しわからない用語を探求し、理解し、それを活用する基礎的な方法を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 修学旅行先の具体的な企業を理解する。基礎的な操作を身に付け、組み合わせる方法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 実際にタブレットを操作し、集中して取り組んでいるか。	○	○	○	3
	業界研究 時事用語探求	・我が国の興味のある企業や業界を探求することで、様々なデータ形式を収集、加工した情報を報告書(レポート)として適切に表現する能力を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 書籍や情報を通して、様々なデータを活用する能力を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の我が国における業界課題に取り組む。	○	○	○	9
	経済探求	・パソコンや各自のタブレットを活用して、現在の我が国の経済を探求することを通して、具体的に活用する技術を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 経済探求のための調査方法を理解し、活用する技術を身に付ける。適切に報告書として表現しまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポート制作に集中して取り組む。	○	○	○	12
2 学期	文化祭に向けた取り組み 進路活動に向けた時事用語研究	・進路活動(就職活動)に向け、時事用語の探求以外でも面接に向けた練習を通して、具体的に活用する技術を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 各自の進路活動に向けた自己PRや履歴書作成に関する注意点に取り組む、現在の社会情勢を深く理解する。また、面接練習を重ねることでその技術を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展課題に集中して取り組む。	○	○	○	8
	ディベート	・ディベートに関する理解を深める。ディベートにおけるマナーやルールの注意点を学び、コミュニケーション能力を十分に発揮できる方法を身に付ける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ディベートに関する知識(ルール)を学習し理解を深める。ディベートテーマについて肯定派と反対派のそれぞれの立場で考え注意点を配慮し、チームが勝利できるコミュニケーション能力を養う方法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の主張をきちんと理解し、テーマに集中し、正しい言葉遣いで反駁で取り組む。	○	○		6

	<p>課題研究発表会に向けて発表原稿作成 卒業論文制作</p>	<p>・発表原稿およびパワーポイントを作成し作品制作に、知識・技術を活用する能力を身に付ける。 ・各自、卒業論文に向け、学習した企業活動及び業界活動の現状の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ワープロソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアの機能を利用し、課題研究発表会を通して、その活用方法に対して理解を深めているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 論文制作に集中して取り組むとともに、積極的に探求しているか。</p>	○	○	○	18
3 学 期	<p>卒業論文の完成と1年間の振り返り</p>	<p>・卒業論文制作過程をとおして、具体的な技術として身に付ける。 ・1年間の振り返り、発表活動や相互評価から学習事項を整理し、理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 年間を通して、主体的かつ協働的に取り組み、その技術を身に付けているか。昨年以上にコミュニケーション能力が高められたか、ソフトウェアを活用できたか、卒業論文制作に真摯に取り組む力を身に付けているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 年間を通して集中して取り組むとともに、積極的に探求していたか。</p>	○	○		10
							合計 68